

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート

子育てセンターかきのみ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8年 2月 25日(水) 9:30~ 11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

「じぶんがすき みんながすき じぶんできめる みんなときめる」
一人一人が主体的に、そしてお互いを認め合い、共に育つことを大切にします。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

1. 職員主体の学びを深め、保育の質の向上と園の課題解決に繋がるように努めます
職員一人ひとりの主体性を大切に、自ら選んだ研修テーマに個別で取り組んでいます。
その学びをグループや全体で共有し合うことで、個々の保育の質を高め、園全体の保育の充実を目指しています。
2. わくわく・どきどき
子どもも大人もわくわく・どきどきできる毎日を目指して、職員一人ひとりが主体的に教育・保育に取り組んでいきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none">・経営書や毎月の振り返りシートを活用し、重点目標を意識した指導計画を立てることができた。・グランドデザインや重点目標を、日々の保育に計画をより活かせるよう工夫し、今年度採用の職員においては内容への理解をさらに深めていく必要がある。・今年度のテーマ「わくわく・どきどき」を踏まえた計画や活動を進めることができた。・個人目標の振り返りやグループワークを通じて、保育環境や保育の質が高まったと感じることがある。	4	<ul style="list-style-type: none">・園で行っている振り返りシートが工夫されており、グループワークで一人では保てないモチベーションが維持できると感じた。途中で興味が移った際は難しいと感じるが、他のグループからの情報を共有できると一体感が生まれ、子どもの思いが満たされるのではないかと感じた。・職員が研修したい雰囲気作りがされていると感じる。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	<ul style="list-style-type: none">・子どもの興味や発達に応じた計画や、“自分で決める”を意識した教育保育が実践されている。・異年齢保育では、年上の子が年下の子を自然に助ける姿が見られる。・季節感を取り入れた食事やクッキングなど、食育への取り組みも積極的である。・職員全体が子どもの声に耳を傾ける姿勢が見られる。・日々の保育の中で、細やかな配慮や衛生面への意識づけについて丁寧に取り組んでいきたい。・指導計画から実践の評価、反省は行っていたが実践の部分で細やかな配慮ができていなかった。	4	<ul style="list-style-type: none">・わくわくどきどきや忍者テーマが継続できなかったと意見があったが、お泊り保育から始まり運動会や日々の保育のなか続いていると感じている。・職員が始めから「忍者」というテーマを決めるのではなく、子どもの興味を拾い、保育を発展させていったところが良いと思った。子どもたちがすごく楽しんでいる。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせる環境作りを大切に、一人ひとりの気持ちや体調に寄り添いながら柔軟に対応している。 ・遊びや生活の中では、子どもの「やってみたい」「どうしたいか」を尊重し、子どもが自ら考えて動けるような声掛けを意識している。 ・季節を感じられる行事やクッキング、畑を通して、命の大切さや自然との触れ合いを体験できるようにしている。 ・子どものつぶやきや様子から環境を整え、遊びの幅を広げている。 	4	<p>大人が楽しむことができている。子どもがやりたい、やってみたいという思いに対応しており、環境整備が十分されている。自然環境がよく、園庭も広く素晴らしい。落ち葉遊びが楽しめる環境がとても良い。</p>
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で、来園者に笑顔で挨拶することを心掛けている。 ・懇談会を年2回に増やし、保護者に対して、より丁寧な情報提供ができた。 ・保育参加や親子さんぽを通して園での様子を伝え、家庭との連携を図ることができた。 ・お迎え時の声掛けや掲示・ブログなどで日々の様子を知らせ、相談しやすい環境を整えている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の性格や話しかけるタイミング等、全員均等に対応するのは難しいと思うが、送迎は保護者が行っている家庭が多い為、努力は必要である。 ・すべての先生と関わっていないが、話しかけてくれる。子どもたちが登園を嫌がらないので良い。 ・保育者の保護者対応への評価と利用者アンケートの結果を比較すると、双方の認識に乖離が見られた。 ・Googleフォームからの回答率に関しては、昨年と比較して下がったとのことだが継続していけば上がっていく。回答の仕方がわからなくて下がった可能性も高い。 ・昨年度の集計をのせ今年度と比較できると良い。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が必要とする情報をその都度提供し、地域の情報も取り入れて発信することができた。 ・来園された方には職員があたたかく挨拶し、親しみやすい雰囲気作りをしている。 ・園の保護者だけでなく、ブログなどを通じて地域の方と情報を共有することができている。 ・支援ひろばでは、職員が地域の子ども達と楽しく関わろうと心がけた。 ・支援ひろばが、地域の方にとって気軽に相談したり遊びに来たりできる場になっている。 ・園の子ども達の姿が、地域の方にとって子育てを見つめ直す良いきっかけとなっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・息子のことや、仕事のこと相談がしやすく、開かれた園であると感じる。 ・子ども誰でも通園制度やボランティア、実習の受け入れ、小中学校との連携など、地域とのつながりや地域の方が利用しやすい環境を整えている。
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の移り変わりを保育や行事に取り入れ、子ども達が心地よく過ごせる園内環境が整えられている。 ・職員同士が相談しやすく、互いの個性や得意分野を活かした保育を行っている。 ・日々の掃除や環境整備に課題はあるが、職員一人ひとりが働きやすい雰囲気作りに努めている。 ・保育者自身が園での時間を楽しみながら、子どもの手本となる行動を意識している。 ・苦手な分野を補い合いながら、チームとしての保育を実現できている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が明るく、話しかけてくれる職員が多い。 ・実働時間は変わらないまま残業削減だけが求められ、同じ仕事量と質を維持することが現場の大きな負担になってはいないかと感じる。アウトソーシングでの時間捻出を検討しても良いのではないかと。